

政府閣僚会議：今週の議題（2008年4月24日）

議題 1. 2010-2015年のロシア運輸システムの発展について

（イーゴリ・レヴィチン運輸大臣による報告）

提出された全連邦プログラム「ロシア運輸システムの発展（2010-2015年）」は基本的に承認。

運輸省、経済発展貿易省、財務省は、その他関連権力執行機関と共に、特に以下のことに注意を払い、提出された資料を完成する。

- ・運輸インフラ施設における近代技術採用の必要性
- ・海上・河川運輸の発展
- ・自動車道路の建設・改修に対して、ロシア連邦構成主体の予算への提供条件と助成金支出の方法論の練り上げ
- ・農業居住地を幹線自動車道路網と結びつける硬く舗装された自動車道路の発展
- ・運輸分野の学術施設における経済的・技術的基盤の強化

ロシア財務省、ロシア経済発展貿易省、ロシア運輸省は以下のことを審議する。

- ・連邦予算から全連邦プログラム「ロシア運輸システムの発展」に対する融資額増加の可能性
- ・諸機関が所有する飛行場、海港、河港がある土地区画に対する土地税の支払いから、また、諸機関が所有する飛行場や港の別の不動産に対する資産税の支払いから、それら諸機関が免除されることの合理性

運輸省、財務省は、関係執行権力機関とモスクワ市政府と共に、モスクワ運輸ターミナルの発展に関する議題を審議する。

経済発展貿易省、運輸省、財務省、連邦関税局は公開型株式会社「ロシア鉄道」と共に、国家社会経済発展の予測準備の際に2009年から始まる鉄道貨物輸送のタリフに投資乗数を盛り込むことの必要性を考慮する。

運輸省、経済発展貿易省、財務省は、総重量が12トンを超える貨物自動車による連邦自動車道路の通行に対する料金の導入についての議題を審議する。

議題 2. 高緯度と極地地域におけるロシア連邦の利益保障について

(アレクサンドル・ベトリツキー連邦水理気象環境モニタリング局長による報告)

連邦水理気象環境モニタリング局、経済発展貿易省、天然資源省、運輸省、地域発展省、財務省は関連執行権力機関とロシア科学アカデミーと共に、特に以下のことに注意して、高緯度と極地域におけるロシア連邦の地位強化を方向付ける対策を採択しなければならない。

- ・北極と南極の自然環境と気候に関する研究・調査の拡大
- ・高緯度と極地域における環境状況のモニタリング・システムの開発
- ・北極における経済活動の水理気象学的・生態学的安全性の保障
- ・ロシア科学調査・砕氷船の開発

連邦水理気象環境モニタリング局、天然資源省、国防省、運輸省、外務省、地域発展省、社会・保険発展省は、関係執行行政機関とロシア科学アカデミーと共に、以下のことを方向付ける規範となる法令集の草案検討を確実に行う。

- ・ロシア大陸棚の範囲内における国家利益の保護
- ・北極海航路の開発と活用
- ・ロシア科学調査船の国家船舶としての地位の決定
- ・極地探検参加者の年金受給の改善
- ・北極地域における国際協力の発展

天然資源省、国防省は外務省、連邦保安局、その他の関係連邦執行権力機関、ロシア科学アカデミーと共に、北極洋におけるロシア大陸棚の外側境界決定のために必要な作業と、この地域におけるロシア大陸棚の外側境界の法的確定を訴えるロシアの申請を検討するための資料準備を確実に行う。

ロシア宇宙局、連邦水理気象環境モニタリング局、情報技術・通信省、地域発展省、経済発展貿易省、運輸省、国防省、財務省は、氷の状況についての情報受信と、北極における通信、放送、航海、環境状況のモニタリング、活動の安全と自然利用の課題の決定を行う多目的ロシア宇宙システム「アルクティク」の法案を検討する。

連邦水理気象モニタリング局、外務省、経済発展貿易省、天然資源省、国家漁業委員会は関連連邦執行機関、ロシア科学アカデミーと共に、2025年までの期間で南極におけるロシア参加保障戦略プロジェクトとその実現に関する対策計画を検討する。

議題 3. 「ロシア連刑事執行法典 100 条における修正に関する連邦法」の草案に

ついて

=承認=

下院への提出が採択された。

議題 4. コンピューターインフォメーションの枠内における犯罪撲滅のための独立国家共同体(CIS)の官民協力についての合意批准を導入するためのロシア連邦大統領への申請書について

=承認=

議題 5. ロシア連邦運輸省についての法規と測地・地図作成連邦局についての法規における修正に関して

=承認=

議題 6. ロシア映画製作 100 周年の祝賀の準備と遂行に関する組織委員会の創設について

=承認=